

クラウドファンディング
【第4弾】歌舞伎や映画、日本文化の歴史を後世に伝える。
プロジェクトが成立いたしました！

【第4弾】歌舞伎や映画、日本文化の歴史を後世に伝える。
+気になるリストに追加

プロジェクト概要 新着情報 19 応援コメント数 231



武藤祥子
演劇と映画の専門図書館・松竹大谷図書館の事務局担当の司書。日本文化の貴重な資料を所蔵するこの図書館を、より役立つ図書館に。

現在の達成金額	2,878,000 円
目標金額	2,500,000 円
スポンサー募集終了まで	終了しました
支援した人数	231 人

✓ プロジェクトが成立しました！
このプロジェクトは 2015年10月28日(水)23:00 に成立しました。

9月8日より、クラウドファンディングサイト「READYFOR」にて、平成27年度の図書館事業運営資金と300冊の「GHQ検閲歌舞伎台本」デジタル化の資金を募集しておりました【第4弾】歌舞伎や映画、日本文化の歴史を後世に伝える。」プロジェクトが、50日間のスポンサー募集期間を経て10月28日に終了いたしました。おかげさまでプロジェクト4年目の今年は、READYFORのサイト上に反映されている支援者の皆様の人数と、代理で申込みいただいた方の人数を合わせまして、238名の方より、目標額250万円を上回る、287万8000円のご支援をいただき、プロジェクトが成立いたしました。本当にどうもありがとうございました。温かなご支援を下された皆様、心強い応援コメントを送って下さった皆様、SNS や様々なメディアで広め、そしてチラシの配布にご協力下さった皆様、ご支援・ご協力下さいました全ての皆様に、心から感謝申し上げます。皆様の、貴重な資料を後世に伝えたいという願いがこもったご支援とともに、これからも、さらに役立つ専門図書館を目指しスタッフ一同、頑張っております。

プロジェクトの詳細は、下記の URL または QR コードをご覧ください
<https://readyfor.jp/projects/ootanitoshokan4>



■ 演劇雑誌 ■

- | | |
|--|--------------------------------------|
| 『C o n f e t t i』 2015年 NOVEMBER Vol. 131 | 『喝采』 2016年 2月 |
| 『J P L』 2015年 Autumn No. 59 | 『国立演芸場公演ガイド』 平成 27年 11月号 |
| 『S e P T倶楽部 i n f o r m a t i o n』
2015年 10月号 | 『座・高円寺』 No. 14 |
| 『t h e座』 2015年 86号, 87号 | 『新制作座だより』 8号 |
| 『あぜくら』 平成 27年 10月号 | 『大向う』 平成 27年 11月号 |
| 『てがみ座通信』 第4葉, 第5葉 | 『伝統文化新聞』 2015年(113号) |
| 『シアターガイド』 2015年 12月号 | 『日本芸術文化振興会ニュース』
平成 27年 10月号, 11月号 |
| 『ジ・アトレ』 2015年 10月 | 『日本照明家協会誌』 2015年 10月号 |
| 『テアトロ』 2015年 11月号 | 『日本舞踊』 67巻 11月号 |
| 『ミュージカル』 2015年 9月-10月号 | 『悲劇喜劇』 2015年 11月号 |
| 『ラ・アルプ』 2015年 11月号 | 『舞台芸術』 Vol. 19 Autumn 2015 |
| 『演劇ぶっく』 2015年 10月号 | 『邦楽の友』 平成 27年 11月号 |
| 『演劇界』 2015年 12月号 | |

■ 映画雑誌 ■

- | | |
|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 『F L I X』 2015年 12月号 | 『ムービー・スター』 2015年 11月号 |
| 『NFCカレンダー』 2015年 11月号 | 『ロケーションジャパン』 2015年 10月号 |
| 『NFCニューズレター』 2015年 10月-11月号 | 『映画テレビ技術』 2015年 11月号 |
| 『SCREEN』 2015年 12月号 | 『映画ビジネス』
平成 27年 9月上旬・下旬号, 10月上旬号 |
| 『TVガイド』 2013年 12/6号~2014年 11/28号 | 『映画芸術』 2015年秋号(453号) |
| 『エキブ・ド・シネマ』 2015年 No. 206, No. 207 | 『映画時報』 2015年 6月号, 8月号 |
| 『キネマ旬報』 2015年 11月上旬号, 11月下旬号 | 『映画秘宝』 2015年 11月号, 12月号 |
| 『ザ・テレビジョン』 2013年 12/6号~2014年 11/28号 | 『衛星劇場プログラムガイド』 2015年 11月号 |
| 『シナリオ』 2015年 12月号 | 『日経エンタテインメント!』 2015年 10月号, 11月号 |
| 『ドラマ』 2015年 11月号 | |
| 『ピクトアップ』 2015年 12月号 | |

■ 松竹系 10月 演劇公演資料 ■

劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
歌舞伎座	『音羽嶽だんまり』	○			
	『歌舞伎十八番の内 矢の根』	○			
	『一條大蔵譚 檜垣・奥殿』	○		○	○
	『人情噺文七元結』	○			
	『壇浦兜軍記 阿古屋』	○			
	『梅雨小袖昔八丈 髪結新三』	○			
新橋演舞場	『スーパー歌舞伎 II ワンピース』	○	○	○	
松竹座 (大阪)	『阿弔流為』	○		○	○
南座 (京都)	『京都都大路 迷宮の恋めぐり』	○		○	○
	市川海老蔵 JAPAN THEATER				○
日本特殊陶業市民 会館 (名古屋)	『あんまと泥棒』	○			
	『藤娘』				
	『秀山十種の内 松浦の太鼓』	○		○	
	『平家女護島 俊寛』	○			
	『太刀盗人』	○			
	『浮世柄比翼稲妻 山三浪宅・鞆当』	○			

[ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします]

■ 他社演劇公演資料 ■

あうるすぽっと	10月	ペテカン『この素晴らしき世界』プログラム 劇団昴『谷間の女たち』プログラム、台本
浅草公会堂	10月	前進座『如月の華 九條武子ものがたり』プログラム、台本
上野ストアハウス	10月	日韓演劇週間V o 1. 3『ストアハウスコレクション』プログラム
NHKホール	10月	『第42回NHK古典芸能鑑賞会』プログラム、台本
大阪新歌舞伎座	9月	『結婚しない女たち 京都室町はんなりハウス』プログラム
	10月	『GS近松商店』プログラム 『三匹のおっさん』プログラム
紀伊國屋サザンシアター	10月	劇団民藝『大正の肖像画』プログラム、台本
紀伊國屋ホール	9月	青年劇場『真珠の首飾り』プログラム、台本
国立劇場大劇場	9月	『日本の太鼓』プログラム
	10月	『伊勢音頭恋寝刃』プログラム
湖南省市石部文化ホール	10月	劇団こなん『椿の実』プログラム
こまばアゴラ劇場	9月	木ノ下歌舞伎『心中天の網島』プログラム 『伝統歌舞伎保存会研修発表会』プログラム
ザ・スズナリ	9月	劇団風琴工房『無頼茫々』プログラム
青年座劇場	9月	劇団青年座『二人だけのお葬式』プログラム、台本
シアタークリエ	9月	『RENT』プログラム
シアターコクーン	9月	『NINAGAWAマクベス』プログラム
	10月	『大逆送』プログラム
シアタートラム	10月	世田谷パブリックシアター戯曲リーディング『戒厳令』プログラム
世田谷パブリックシアター	10月	『ミュルミュルミュール』プログラム
地方巡業	9月	『伝統芸能の今2015』プログラム
中日劇場	10月	『コロケ特別公演』プログラム
帝国劇場	9月	『DREAM BOYS』プログラム
	10月	『ラ・マンチャの男』プログラム
DDD AOYAMA CROSS THEATER	10月	藤間勘十郎文芸シリーズ其の弐『南総里見八犬伝』プログラム
東京芸術劇場シアターウエスト	10月	とよはし演劇工房『父よ!』プログラム
銅鑼アトリエ	9月	劇団銅鑼『はるなつあきふゆ』プログラム
日生劇場	10月	ABC座『THE PLAY』プログラム
俳優座劇場	9月	オペラシアターこんにやく座『音楽劇 魔法の笛』プログラム
	10月	俳優座劇場プロデュース『月の獣』プログラム、台本
博多座	9月	『石川さゆり特別公演』プログラム
パルコ劇場	9月	『タンゴ・冬の終わりに』プログラム
	10月	『ダブリンの鐘つきカビ人間』プログラム 『影向』プログラム
本多劇場	9月	ヨーロッパ企画『遊星ブンボーグの接近』プログラム
三越劇場(日本橋)	10月	『音楽劇Sleeping Beauties 夢をああやつるマブの女王』 プログラム、台本 劇団朋友『ら・ら・ら』プログラム、台本
明治座	10月	『五木ひろし特別公演 特別出演由紀さおり』プログラム、台本
早稲田小劇場どらま館	10月	サンプル『離陸』プログラム

(新着資料案内 続き)

■ 映画資料 ■

○ …… 受入済み

タイトル	プログラム	プレス	ポスター	スチール写真	台本
『THE NEXT GENERATION パトレイバー 首都決戦 ディレクターズカット』	○		○		
『アデライン、100年目の恋』	○	○	○		
『アース・トゥ・エコー』	○	○			
『悪魔のいけにえ 公開40周年記念版』	○				
『METライブビューイング2015-2016』	○		○		

[ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします]

■ 映画プログラム ■

- | | | |
|---------------------------------------|--------------------------|--------------------|
| 『マイ・インターン』 | 『マジック・マイク XXL』 | 『トランスポーター イグニッション』 |
| 『PAN ネバーランド、夢のはじまり』 | | 『キングスマン』 |
| 『劇場版 弱虫ペダル』 | 『テッド2』 | 『しあわせへのまわり道』 |
| 『映画 みんな！エスパーだよ！』 | 『ヴィンセントが教えてくれたこと』 | 『ファンタスティック・フォー』 |
| 『アンフェア the end』 | 『ミニオンズ』 | 『ハイキュー！！勝者と敗者』 |
| 『ジュラシック・ワールド』 | 『バクマン。』 | 『屍者の帝国』 |
| 『白い沈黙』 | 『ダイバージェントNEO』 | 『ヒトラー暗殺、13分の誤算』 |
| 『探検隊の栄光』 | 『ドローン・オブ・ウォー』 | 『ジョン・ウィック』 |
| 『アントマン』 | 『HERO』 | 『ピッチ・パーフェクト2』 |
| 『リトルウィッチアカデミア 魔法仕掛けのパレード』 | 『図書館戦争 THE LAST MISSION』 | |
| 『アメリカン・ドリーマー 理想の代償』 | 『ボーイ・ソプラノ ただひとつの歌声』 | |
| 『ミッション：インポッシブル ログ・ネイション』 | 『進撃の巨人 ATTACK ON TITAN』 | |
| 『BORUTO NARUTO THE MOVIE』 | 『Wake Up, Girls! 青春の影』 | |
| 『内村さまあ〜ず THE MOVIE エンジェル』 | 『ピカチュウとポケモンおんがくたい』 | |
| 『ポケモン・ザ・ムービーXY「光輪(リング)の超魔神 フーパ』 | | |
| 『進撃の巨人 ATTACK ON TITAN エンド オブ ザ ワールド』 | | |
| 『S 最後の警官 奪還 RECOVERY OF OUR FUTURE』 | | |

資料をご寄贈くださった方々（敬称略・順不同／2015年8月～9月）

※許可を得た方のみ掲載しております

松竹株式会社、松竹ブロードキャスティング株式会社、松竹ショウビズスタジオ株式会社、明治座、国立劇場、株式会社日本舞踊社、演劇出版社、文学座、劇団四季、キネマ旬報社、大野彩、無名塾、パルコ劇場、ロングランプランニング株式会社、市川市文学ミュージアム、銀座 博品館劇場、ディアゴスティーニ・ジャパン、株式会社ホリプロ、名取事務所、一般社団法人日本民間放送連盟、一般社団法人義太夫協会、劇団俳優座、若林さだ吉、シアタークリエ、笹川慶子、関西・歌舞伎を愛する会、公益社団法人日本照明家協会、フィルムセンター、七世中村芝翫、一般社団法人日本映画製作者連盟、国文学研究資料館、粋者、株式会社カモミール社テアトロ編集部、株式会社NewYorkArt、伝統文化新聞、黒澤明研究会会誌、日本劇団協議会、(株)近代映画社、株式会社東急文化村、劇団青年座、博物館明治村、国立歴史民俗博物館、花組芝居、劇団銅鑼、日本映画撮影監督協会、銀座百店会、邦楽の友社、おもだか会、加藤健一事務所、文学座有志の会「久保田万太郎の世界」代表:黒木仁、帝国劇場、人形劇団プーク、博多座、シナリオ・センター、日本映画テレビ技術協会、神奈川県演劇連盟、(株)マルヨンプロダクション「シナリオ」編集部、こまつ座、神戸女子大学古典芸能研究センター、公益財団法人 劇場演出空間技術協会、曾根静江、独立行政法人日本芸術文化振興会国立文楽劇場、愛知芸術文化センター、劇団民藝、日本映画テレビプロデューサー協会、流山児★事務所、児童・青少年演劇ジャーナル「げき」編集委員会、丸善出版株式会社、新国立劇場情報センター、河竹登志夫、社団法人日本演劇協会、株式会社ヴィレッヂ、前進座、日本近代文学館、玉川大学教育博物館、木ノ下裕一、世田谷文学館、東京芸術劇場（公益財団法人東京都歴史文化財団）

どうもありがとうございました

「松竹創業 120 周年[後期：1976-2015]」展

展示期間：2015 年 10 月 30 日～12 月 25 日／於 閲覧室

11-12 月の展示は、引き続き、本年に創業 120 周年を迎える松竹株式会社の歴史をたどる資料を展示した「松竹創業 120 周年」です。7-8 月の前期展示(1895-1935 年)、9-10 月の中期展示(1936-1975 年)、と続いた展示は、今回の後期展示(1976-2015)で、最後となります。この時期は、昭和から平成へ、20 世紀から 21 世紀へと、大きく時代が動き、松竹もまさに変革のときを迎えました。

演劇では、歌舞伎をはじめ、新派や新喜劇にも携わってきた松竹ですが、50 年代より、時代劇、現代劇、翻訳劇、ミュージカルなども上演し、様々な分野に進出していきます。また、21 世紀には、第 5 期歌舞伎座の開場という歴史的な出来事もあり、日本の演劇界を牽引する存在として、その地位を一層確かなものにしていきます。映画の分野では、『男はつらいよ』『釣りバカ日誌』などのシリーズ作品や、日本アカデミー賞を 3 年連続受賞した『幸福の黄色いハンカチ』『事件』『復讐するは我にあり』などの名作を送り出しており、平成 21[2009]年には『おくりびと』でアカデミー賞外国語映画賞受賞の快挙を得るなど、日本映画界の第一線に立ち続けています。



『キネマの天地』台本。左よりピンク色、黄緑色、青色の表紙で、それぞれ準備稿や改訂稿など、製作過程で作られたもの。表紙に「松竹大船撮影所 50 周年記念映画」と書かれている。

《年表》(※●【数字】は展示の資料番号)

昭和 51[1976]年	2 月 日生劇場にて平幹二郎、五代目坂東玉三郎出演の『マクベス』上演。歌舞伎と新劇を結びつけた企画【●【1】スチール 左より:平幹二郎、五代目坂東玉三郎】
昭和 52[1977]年	4 月 新橋演舞場にて尾上松緑主演の翻訳劇『オセロー』上演 4 月 18 日 城戸四郎会長逝去 10 月 1 日 映画『幸福の黄色いハンカチ』(山田洋次監督)封切、翌年の第 1 回日本アカデミー賞で作品賞他を受賞【●【2】スチール 左より:高倉健、倍賞千恵子】
昭和 53[1978]年	4 月 昭和 43[1968]年 7 月より刊行の、松竹演劇部発行の季刊誌『歌舞伎』が 40 号をもって完結【●【5】雑誌「歌舞伎」40 号】 6 月 3 日 映画『事件』(野村芳太郎監督)封切、翌年の第 2 回日本アカデミー賞で作品賞他を受賞【●【3】スチール 左より:松坂慶子、永島敏行】 12 月 サンシャイン劇場開場、七代目尾上菊五郎、五代目坂東玉三郎等出演の花形歌舞伎公演で開場記念興行【●【6】プログラム】
昭和 54[1979]年	4 月 21 日 映画『復讐するは我にあり』(今村昌平監督)封切、翌年の第 3 回日本アカデミー賞で作品賞他を受賞。第 1 回より 3 年連続で松竹が受賞の快挙【●【4】スチール 緒形拳】
昭和 57[1982]年	4 月 新橋演舞場新装開場 6-7 月 サンシャイン劇場にて『アマデウス』を九代目松本幸四郎、江守徹出演で上演、大成功を納める【●【7】スチール 左より:藤真利子、九代目松本幸四郎、江守徹】 6-7 月 訪米歌舞伎公演。歌劇の殿堂メトロポリタン・オペラハウスに歌舞伎が初めて進出し「グランドカブキ」と銘打った公演は連日盛況に沸く 8 月 創立 55 年松竹歌劇団(SKD)特別公演。戦後初の歌舞伎座公演。平成元年まで夏の風物詩として毎年 8 月に歌舞伎座公演が催される【●【8】スチール】 10 月 9 日 映画『蒲田行進曲』(深作欣二監督)封切。題名の由来は松竹蒲田撮影所の賛歌“蒲田行進曲”による【●【9】スチール 左より:平田満、風間杜夫、松坂慶子】 12 月 4 日 映画『E.T.』(スティーヴン・スピルバーグ監督)封切、大ヒット
昭和 59[1984]年	10 月 有楽町センタービル(マリオン)1 期ビル完成、同ビル内に丸の内ピカデリー1・2 が開場【●【11】図書「グレート・メモリーズ 丸の内ピカデリー・丸の内松竹」】
昭和 60[1985]年	松竹創業 90 年 3 月 1 日 昭和 41 年以来絶えていた松竹グループ社報を復刊 6 月 金丸座にて第 1 回目の四国こんぴら歌舞伎大芝居興行 7-8 月 アメリカにて十二代目市川團十郎が海外で初の襲名披露公演【●【12】プログラム】
昭和 61[1986]年	2-3 月 三代目市川猿之助によるスーパー歌舞伎『ヤマトタケル』新橋演舞場で 2 ヶ月ロングラン公演【●【10】スチール 三代目市川猿之助】 8 月 2 日 松竹大船撮影所 50 周年記念映画の『キネマの天地』(山田洋次監督)封切【●【13】台本、【14】スチール 左より:中井貴一、すまけい】 11 月 中座改装。松竹新喜劇、藤山寛美年中無休二十年達成

昭和 62[1987]年	2月 新橋演舞場にて新派 100 年記念公演
昭和 63[1988]年	歌舞伎座 100 年 12月24日 映画『釣りバカ日誌』(栗山富夫監督)封切、シリーズ第1作目。2009年までに全22作公開[●【15】スチール 左より:西田敏行、三國連太郎]
平成 2[1990]年	4-5月 ベニサン・ピットにてジャン・コクトー原作『双頭の鷲』を麻実れい主演で上演 4月28日 映画『死の棘』(小栗康平監督)封切。5月に第43回カンヌ国際映画祭でグランプリと国際批評家連盟賞受賞 8月 納涼花形歌舞伎。8月の歌舞伎座で31年振りに歌舞伎興行。これより一年通しての歌舞伎興行が始まり、現在まで続く 11月13日 松竹独自のコンピュータによる入場券予約システム「チケットホン松竹」スタート
平成 3[1991]年	11-12月 南座新装開場記念興行。三代目中村鴈治郎襲名披露の最終公演 11-12月 サンシャイン劇場にてロンドン・ミュージカル『ブラッドブラザーズ』上演 [●【17】スチール 左より:柴田恭兵、三田村邦彦] 12月 新橋演舞場にてブロードウェイ・ミュージカル『グランド・ホテル』来日公演
平成 6[1994]年	6月 シアターコクーンでの初の歌舞伎公演『東海道四谷怪談』上演
平成 7[1995]年	松竹創業 100 周年 10月10日 映像・映画のテーマパーク鎌倉シネマワールド開場 12月23日 映画 第48作『男はつらいよ 寅次郎紅の花』(山田洋次監督)封切、シリーズ最終作及び翌年逝去した渥美清の遺作[●【16】スチール 左上より時計回り:渥美清、浅丘ルリ子、吉岡秀隆、後藤久美子]
平成 9[1997]年	2月26日 大阪松竹座新築開場[●【23】図書「新装開場記念誌 大阪松竹座」] 5月24日 映画『うなぎ』(今村昌平監督)封切。第50回カンヌ国際映画祭でパルム・ドール受賞
平成 10[1998]年	12月22日 本社を中央区築地・東劇ビル(現在地)に移転
平成 11[1999]年	10月31日 中座閉館
平成 12[2000]年	6月 松竹大船撮影所閉所 8月 七代目市川染五郎と劇団☆新感線のコラボレーションによる『阿修羅城の瞳』が大阪松竹座、新橋演舞場にて連続上演[●【18】スチール 左より:七代目市川染五郎、古田新太] 11月11日 映画『十五才 学校Ⅳ』(山田洋次監督)封切。松竹大船撮影所製作の最後の作品 11月 隅田公園に建てられた仮設劇場で平成中村座初興行
平成 14[2002]年	3月2日 映画『ロード・オブ・ザ・リング』(ピーター・ジャクソン監督)封切[●【19】プログラム] 11月1日 旧本社跡地に建設のADK松竹スクエア(現 銀座松竹スクエア)オープン 11月2日 映画『たそがれ清兵衛』(山田洋次監督)封切。第76回アカデミー賞外国語映画賞にノミネート[●【20】スチール 左より:宮沢りえ、真田広之]
平成 15[2003]年	歌舞伎 400 年記念興行 1月 東劇ビルよりADK松竹スクエア3階に移転した松竹大谷図書館が開館 5月22日 天皇皇后両陛下がご即位後初めて歌舞伎座でご観劇。『暫』をご覧になれる
平成 16[2004]年	7月 平成中村座がリンカーン・センター・フェスティバルに参加しニューヨーク公演を行う
平成 17[2005]年	松竹創業 110 周年 1月15日 シネマ歌舞伎第1作『野田版 鼠小僧』封切[●【21】プログラム] 2月 第55回ベルリン国際映画祭にて、企業・団体として初めて松竹が特別功労賞(ベルリナーレ・カメラ賞)を受賞 11月25日 歌舞伎がユネスコの世界無形文化遺産に登録 12月 南座松竹経営 100 年。四代目坂田藤十郎襲名披露[●【24】図書「南座 松竹経営顔見世百年」]
平成 18[2006]年	10月 歌舞伎公式ウェブサイト「歌舞伎美人(かぶきびと)」開設 12月13日 永山武臣会長逝去 12月31日 ニューヨーク・メトロポリタン歌劇場で上演されたオペラを上映するMETライブビューイングが始まる
平成 20[2008]年	7月19日 新宿ピカデリーオープン 9月13日 映画『おくりびと』(滝田洋二郎監督)封切、第81回アカデミー賞外国語映画賞を受賞[●【22】プレス]
平成 22[2010]年	4月30日 歌舞伎座建替えのため閉場
平成 23[2011]年	1月15日 ドキュメンタリー映画『わが心の歌舞伎座』封切
平成 25[2013]年	4月2日 第5期歌舞伎座新開場柿葺落興行[●【25】図書「新開場記念 歌舞伎座」]。歌舞伎座地下の木挽町広場は災害時は臨時の防災支援拠点となる役割を持つ 4月24日 歌舞伎座ギャラリーオープン
平成27[2015]年	松竹創業 120 周年

■ 公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い ■

公益財団法人松竹大谷図書館は、演劇・映画の専門図書館である松竹大谷図書館を運営し、所蔵資料を広く一般に無料で公開して、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的とする事業を行っております。

当館の使命である、資料を収集・整理・保存・公開する図書館事業を確実に永続的に達成し、さらなる社会貢献をしていくために、寄附金を募っております。

公益認定を受けた財団法人への寄附金支出者は税制上の優遇措置が受けられます。

何卒、ご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

● 現在ご支援いただいている方々（了承を得た方のみ掲載）

2015（平成27）年10月にご支援いただきました

法人・団体（50音順・敬称略）

株式会社歌舞伎座

歌舞伎座サービス株式会社

歌舞伎座舞台株式会社

松竹株式会社

松竹衣裳株式会社

株式会社松竹映像センター

松竹音楽出版株式会社

松竹芸能株式会社

株式会社松竹サービスネットワーク

松竹ブロードキャスティング株式会社

株式会社松竹マルチプレックスシアターズ

個人（敬称略）

谷本宗生

松本央央

どうもありがとうございます

■ 編集後記 ■

▼巻頭でもお知らせしていますように、10月28日に、クラウドファンディングのプロジェクトが無事成立しました！ご支援・ご協力、本当にありがとうございます。今回の目標金額達成日は、10月19日の日曜日でした。スタッフMさんはちょうど外出中で、夜の9時前にスマホでプロジェクトページを確認したまさにその瞬間、目標に達したそうです。出先だったために喜びをあらわにすることは控えつつも、心はとても弾んでいました。もちろん、喜びは他のスタッフも同じで、翌日の月曜日の朝礼で、皆で喜びを分かち合いました。4回目のプロジェクトを、無事達成できましたのも、図書館を気にかけて下さる皆様のおかげです。この喜びを胸に、これからもスタッフ一同がんばります！

▼7月より前期・中期・後期と分けて閲覧室展示を行った「松竹創業120周年」展も、12月で終わりを迎えます。こうして展示をしてみると、120年は本当に長いです。実は、最初は120年を60年ずつに分け、前期と後期に展示期間を設けようと思ったのですが、松竹の歴史が長いうえにとっても深く、60年の区切りでは、資料が膨大すぎて、当館の小さな展示ケースに入らないことに気づきましたので、直前に、40年ずつに分けた前期・中期・後期の、合計3回の展示期間にしました。それでも、展示できなかった資料はいっぱいあります。是非、当館にいらしていただいで、閲覧室でご請求の上、お好きな時代の資料をご覧いただければ、と思います。



● 利用案内 ●

開館時間

平日午前10時～午後5時

休館日

土曜日、日曜日、祝祭日、毎月最終木曜日、5月1日、11月22日、年末年始、春期夏期特別整理期間

※その他、臨時休館のある場合は一ヶ月前から館内およびウェブサイトに掲示します。

閲覧 館内閲覧のみ
入館料 無料

● 交通案内 ●

東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線 東銀座駅5番出口より徒歩3分
東京メトロ有楽町線 新富町駅1番出口より徒歩8分

